

R8 田人地区 地域おこし協力隊

2月号

ちーの山暮らし物語



農地賃貸借の流れの習得

一昨年、初めて田人に訪れた時に、田んぼの景色に一目惚れでした。協力隊着任後、田人での生活がスタートし、車で走ってみたら、耕作しなくなった土地が見受けられました。

耕作放棄地の所有者と米や野菜を作りたい人を繋ぐことが私の仕事の一つです。地域の方々が大事にしている土地をもう一度使ってもらいたいです。耕作放棄地の情報を収集し始めてみると、土地の現状や管理状況がそれぞれ違い、大変でしたが、田人の皆さんのお陰で、土地の情報が少しずつ集まりました。ありがとうございます。

農地を借りたい人と農地を貸したい人を繋ぐために、農業振興課に行き、農地賃貸借契約について勉強してきました。令和7年度から、農地の賃貸借契約については農地バンク経由となったそうです。その制度を詳しく知る為、資料を読んだり、分からないことを農業振興課に聞きました。そのため、農地バンクの活用方法などが分かるようになりました。次は人に上手く説明できるように頑張ります！

寒風が吹き、肌がピリピリと痛いほどの季節になりました。寒さが強くなり、雪も降ってきました。「あ、微生物たちが喜ぶふわふわとした畑を作るために、落ち葉を集めるか」と思った時に、支所に来たJさんから「落ち葉が沢山あるから、要りますか？」と声をかけられました。奇跡のようなタイミングでした！「欲しいです！」即答しました。

その日、五キロ先の自宅から歩いて来たJさんは帰り道、落ち葉を降ろす場所を見に来てくれました。数日後、畑に行ったら、自分が集めるより、山ほどの落ち葉が堆肥置き場の周りに置いてありました。「小人の靴屋」のあらすじのようでした。大量の落ち葉は濡れていて、かなり重く運ぶのが大変だったと思い、Jさんご夫婦への感謝、感動の気持ちが胸に溢れてきました。

早速、雨が降る前日に、いただいた落ち葉の半分を土のう袋から出して堆肥置き場に入れました。残りの半分は春になったら畑にまいて耕します。

樹木の葉、特に森にある木の葉は、無数の日月星の光を吸収しているため、大きな生命を育てるエネルギーが含まれています。落ち葉を使うことにより、味が深く美しい野菜が育てられます。いただいた落ち葉を大事に使って美味しい野菜を作ろうと思います。

堆肥作り



中国語ミニ教室
今日の単語は
シャング
香 菇

訳: 椎茸 (しいたけ)

いちごの摘花作業

冬場、露地の畑作業が小休止となり、田人観光いちご園に学習兼お手伝いに行ってきました。株の成り疲れや果実品質の維持のため、一株にあるいちごの花を六個か七個残るように摘み取る作業をしました。

花が咲く前の蕾のような花房と咲いていても茎の細い花房を、茎から取るとH子さんが示しながら、丁寧に説明してくれました。沢山ある花房の中で、どれを取るかどれを残すかの判断が難しかったです。この作業は大変でしたが、美味しいいちごが実るようと思ったら、続いて頑張れそうになります！

その後、Hさんがいちご園の運営や、蒔蒾畑だったこの辺りで、いちごの栽培を始めたきっかけを話してくれました。

いちご園で学んだことは作業や技術だけではなく、この恵まれた土地の中で育った人がこの場所を守りたい気持ちでと、多くの人に美味しいいちごを食べてもらうために、色々と努力したと感じます。貴重な農業人授業、ありがとうございます。

